

タクシードライバーに向いている人の特徴。全くの未経験からスタートすることも可能！  
タクシードライバーに向いている人とは？活かせる経験は？

「ドライバー」と聞くと、一人の時間が長いイメージを持たれる方も多いと思います。

確かに、一般的なドライバーであれば一人で黙々と作業する時間も多のですが、タクシードライバーは違います。

タクシードライバーは乗客を乗せて走る仕事です。

そのため、一般的なドライバーと比べて人との関わりが多くなります。

もちろん、「運転が好き」という気持ちは仕事を楽しく続けていくうえで大切になっていきますが、タクシードライバーの場合は、

- ・人と話すのが好き
- ・接客が好き
- ・誰かに喜んでほしい

という気持ちがある方のほうが向いていると言えるでしょう。

接客や介護、営業などの経験や、コミュニケーション力も活かせる仕事です。

お客様を的確かつ安全に送り届けるためには、ある程度の土地勘も必要になります。

例えば、「長年、愛知県に住んでいる」「営業で愛知県や名古屋に車でよく行っていた」など、地元の土地勘に詳しい方はそのスキルも活かすことができるでしょう。

また、タクシー運転手の仕事は一般的な配送ドライバーと比べて、荷物の積み降ろしによる負担がない仕事です。

そのため、年齢を重ねても無理なく続けられる仕事とも言えます。

タクシーを利用するときを思い浮かべてみるとイメージしやすいと思いますが、実際に多くのシニア世代がタクシードライバーとして活躍しています。

未経験からタクシードライバーになることも可能

未経験からタクシードライバーになりたいと考えている方もたくさんいらっしゃると思いますが、

そもそもドライバーが全くの初めての方や、業界知識がない方にとっては「自分にもできるだろうか…」と不安に感じることもあるでしょう。

結論から言うと、全くの未経験の方でもタクシードライバーになることは可能です。

タクシードライバーになるためには、二種免許が必要になります。

二種免許とは、乗客を乗せて運転するために必要な免許です。

ただし、二種免許を持っていなくてもタクシードライバーの求人に応募することは可能です。

企業によっては未経験者でも仕事を始められるように、普通自動車免許 1 枚で応募できるようにしています。

タクシー業界では高齢化が進んでおり、愛知県にあるタクシー会社を含め、多くの企業が世代交代の時期を迎えています。

そのため、若手の採用に力を入れている企業も多いです。

その一環として、入社後の二種免許取得サポートや、入社後の給与保障、ドライバーの希望に合わせた働き方を叶える環境づくりなど、企業によってさまざまな工夫をしています。

愛知県を中心に展開するつばめタクシーグループでも、二種免許の取得からサポートを行うなど、未経験でもイチからスタートできる取り組みを行っています。

企業の規模・将来性も確認してみましょう

愛知県にもさまざまなタクシー会社がありますが、会社によって研修制度の内容や充実度は異なります。

未経験からタクシードライバーになりたいと考えている方は、安心して仕事を始めるため

にも求人の応募前に確認することをおすすめします。

一概には言えませんが、大手のタクシー会社では研修制度やサポート体制の土台が整っているケースが多いです。

先ほどもご紹介しましたが、二種免許の取得サポートや、入社後数か月の給与保障制度など、未経験の方も安心してスタートできるような環境をつくっている企業もあります。

愛知県の名古屋エリアで展開しているつばめタクシーグループでも、二種免許のサポートや業務の基本を学べる座学、先輩の運転手による同乗研修など、

段階を踏んでタクシー運転手に慣れていける環境を整えています。

また、企業によってはタクシー以外にもさまざまな事業を展開していることもあります。

まずはタクシードライバーとして活躍した後、違う職種に挑戦してみるなど、ステップアップ・キャリアアップの幅広さも企業によって大きく変わります。

「この会社ではどんなサポートが受けられるのか」

「将来的にどんな挑戦ができるのか」など、入社直後だけでなく、数年先を見据えて会社を選んでいくといいでしょう。

タクシー運転手に向いている人・適正

記事更新日：2022/09/26

タクシードライバーはドライバー職の中では特殊で人と関わりが強く、接客スキルが求められます。

タクシードライバーとして接客していく中でどのような方が向いているか、向いていないのかを解説していきます。

タクシードライバーに向いている性格・適性

タクシー運転手に向いていない方

タクシードライバーに向いている性格・適性

### 1. 気配り上手な人

タクシー運転手は、サービス業としてお客さまに快適に過ごしていただくための気持ちが強く求められる仕事です。

運転に集中しながらも常にお客さまの様子には気を配らなくてはなりません。

場合によっては自らお客さまに声をかけることも大切です。

さりげない気配りや心配りができる人にこそ向いている仕事です。

### 2. 一人で過ごす時間も苦にならない人

タクシー運転手は、乗務中は自分だけで過ごす時間も非常に長い仕事です。

毎日、会社からタクシーを出庫してからの1日の過ごし方は、基本的にそれぞれ運転手に任せられます。

その日の営業が終わるまでは、自分でお客さまを見つけながら走ることが基本となるため、会社で仲間と協力して物事に取り組むという仕事とは根本的に性質が異なります。

その為、一人の時間が苦にならない人、一人でも淡々と仕事をこなせる人に向いている仕事だと言えます。

### 3. ストレスに強い人

タクシー運転手の仕事は、1日の拘束時間が15時間程度と、とても長いのが特徴です。

休みもしっかりととることができますが、運転中は安全運転のために常に集中している必要がありますので精神的なプレッシャーも強い仕事です。

また、長く仕事を続けていけば、暴言や理不尽な文句などをおっしゃる

接しにくいお客様との出会いもありますが、途中で仕事を投げ出すわけにはいきません。

タクシー運転手は、嫌なことがあったときにすぐにイライラしてしまうと運転にも影響が出てしまうため、我慢強い人やストレスに強い人に向いているといえます。

#### タクシー運転手に向いていない方

タクシー運転手は、日々さまざまなお客さまと接するだけに、コミュニケーション能力も必要とされます。

「運転は好きだけど、人とコミュニケーションをとるのは苦手」という方には、あまり向いている仕事とは言えません。

タクシー運転手はきつと言われる理由！向いている人&向いていない人

タクシー運転手はきつと言われる理由！向いている人&向いていない人

「長時間運転し続けなければならない」「休みが取れにくい」「深夜まで働く」など、なんとなくきついイメージを持たれることがあるタクシー運転手の仕事。運転が好きで、タクシー運転手として働いてみたいと思っても、そのイメージに不安を感じている人も多いのではないのでしょうか？

この記事では、タクシー運転手に抱きがちなイメージの実態を解説していきます。また、タクシー運転手に向いている人、あまり向いていない人の特徴もご紹介しますので、タクシー運転手になるか迷っている人は是非参考にしてください。

自分にあった職場が見つかる バイトル NEXT バイトル NEXT で仕事を探す  
目次

タクシー運転手の仕事内容

タクシー運転手の仕事、「きつい」というイメージがありませんか？

【イメージ1】タクシー運転手はドライバー経験がないときつそう  
タクシー運転手の70%がドライバー未経験からスタートしている！  
研修制度・サポートが充実しているタクシー会社を選ぶとよい

【イメージ2】タクシー運転手は労働時間が長くて心身共にきつそう  
タクシー運転手は働き方によって1回の労働時間が異なる  
長時間座りっぱなしなので体力的に・精神的にきついと感じる人も…

【イメージ3】タクシー運転手は休みが取りにくそう  
タクシー運転手は1か月の拘束時間が決まっているからしっかり休める  
タクシー運転手はほかのドライバーの仕事よりも残業時間が少なめ  
隔日勤務の場合は明け番+有給取得で2日連続休める

【イメージ4】タクシー運転手は給与が低くそう  
タクシー運転手の平均収入とほかのドライバーとの差  
なかには年収1,000万ドライバーも！コツをつかむと稼ぎやすい

【イメージ5】タクシー運転手はお客さまとのトラブルが多そう  
最近では防犯対策がしっかりとられていることが多い  
防犯対策の徹底が女性ドライバーの働きやすさにもつながっている！

【イメージ6】タクシー運転手の需要が今後なくなりそう  
タクシー運転手の需要は増加している！  
観光タクシーや介護タクシーなどの専門タクシーも需要が増えている  
タクシー運転手に向いている人・向いていない人の特徴

タクシー運転手に向いている人

タクシー運転手にあまり向いていない人

タクシー運転手のやりがいは？楽しいと感じる瞬間！

まとめ

タクシー運転手の仕事内容

タクシー運転手の基本的な仕事は、お客さまをタクシーに乗せて目的地まで送り届けるこ

とです。お客さまを安全に送り届けるために、運転技術や地理の知識を身に着ける必要があります。

運転のほかにも、ガソリンの給油や車両の点検、車内清掃、常務記録などを行うのも仕事の一環です。さらに、タクシー運転手は接客業のため、お客さまとの適切なコミュニケーションもタクシー運転手の大切な仕事です。お客さまに快適に過ごしてもらうために、会話力や気遣い力が欠かせません。

タクシー運転手の仕事内容については、以下の記事でさらに詳しく解説しています。

**【タクシー運転手の全貌】仕事内容・資格・適性・収入を徹底解説！**

**【タクシー運転手の全貌】仕事内容・資格・適性・収入を徹底解説！**

タクシー運転手の求人を探す

タクシー運転手の仕事、「きつい」というイメージがありませんか？

タクシー運転手の仕事に対して、漠然と「きつい」というイメージを持っている人も多いかもしれません。具体的によく持たれるイメージとしては、以下の6点が挙げられます。

タクシー運転手の仕事への「きつい」というイメージ6つ 図

これはあくまでもイメージであり、事実とは異なる部分もあります。実際のところはどうなのか、ここからはタクシー運転手に関する6つのイメージの実態について解説していきます！

タクシー運転手の求人を探す

**【イメージ1】タクシー運転手はドライバー経験がないときつそう**

運転は好きだけど、ドライバーとしての経験がなければタクシー運転手になることは難しいのでは？というイメージを持っている人や、お客さまを乗せて送り届けるタクシー運転手の仕事が未経験からでも務まるのか不安といった気持ちがある人も多いかもしれません。

実際、タクシー運転手はドライバー経験がないと厳しいのでしょうか？

タクシー運転手の70%がドライバー未経験からスタートしている！

タクシー運転手の70%がドライバー未経験からスタートしている！タクシー運転手は未経験

験からでもスタートしやすい！

実は、現在タクシー運転手として働いている人の 70%が未経験からスタートしています。ほとんどの人が未経験から活躍していることを考えると、タクシー運転手はドライバー経験がなくてもスタートできる仕事です。

初めのうちは効率よくお客さまをひろって送り届ける流れや、道選びに迷ったりすることがあるかもしれませんが、経験を積んでいくうちに慣れていくでしょう。

研修制度・サポートが充実しているタクシー会社を選ぶとよい

どうしても未経験で働くことに不安を感じる場合は、入社後のバックアップがしっかりしている会社を選ぶと良いでしょう。地理に関する勉強や路上での運転教習、無線の使い方など、基本的なタクシー運転手に必要な技術は一通り研修で身に付けることができます。

なかには、タクシー運転手になるために必要な普通自動車第二種運転免許取得の取得費用や知識のインプットを支援してくれる会社もあるため、未経験からタクシー運転手を目指す場合には、はじめのタクシー会社選びが重要です。

タクシー運転手の求人を探す

【イメージ2】タクシー運転手は労働時間が長くて心身共にきつそう

タクシー運転手は、長時間労働がきつそうというイメージも多く持たれます。「狭い運転席に座りっぱなし」「運転し続けて腰が痛そう」「深夜の運転は眠くなりそう」など、労働時間や働く時間帯について心配に感じる人も多いでしょう。

タクシー運転手の労働時間は本当に長いのか？きついのか？について解説します。

タクシー運転手は働き方によって1回の労働時間が異なる

タクシー運転手の働き方は、基本的に以下の3つに分けられます。

- 昼日勤：朝から夕方までの8時間勤務
  - 夜日勤：夕方から翌深夜までの8時間勤務
  - 隔日（かくじつ）日勤：朝から翌深夜までの17時間勤務
- タクシー運転手の働き方は3パターン 昼日勤 夜日勤 隔日勤務

それぞれの働き方で、一回の労働時間、もしくは働く時間帯に違いがあります。働き方は務

めるタクシー会社によって選べる場合もあれば、求人募集時にすでに決まっている場合もあります。

「隔日（かくじつ）勤務」は1回の拘束時間が17時間程度と長い

「タクシー運転手は労働時間が長くて心身共にきつそう」というイメージは、おもにこの隔日勤務に向けたイメージだと考えられます。隔日勤務は、早朝から翌深夜までの17時間ほどを1回の勤務とする働き方です。

働く時間が長く懸念されがちな勤務ですが、隔日勤務は「1日おきに働く」ため、しっかり休みを確保できるのが特徴です。1か月単位で見ると、実は月の半分以上が実質休日です。

最近では、働き方改革で終業時刻から次の始業時刻の間に、一定時間以上の休息時間を設ける「勤務間インターバル」の導入努力義務が決定したり、一定時刻以降の残業を禁止したりするなどのルールも動き始めています。たしかに1回の勤務時間が長いため「きつい」と感じることもあるかもしれませんが、制度改革により徐々に働きやすい勤務スタイルになってきています。

参考：タクシー・ハイヤー運転手の労働時間等の改善基準のポイント

隔日勤務は勤務時間が長すぎてきつそう…と感じるなら「昼日勤」がおすすめ

「深夜帯に働くと体を壊すかもしれない」「家庭との両立ができない…」という人は、昼日勤がおすすめです。昼日勤と夜日勤は1回の勤務時間は8時間と同じですが、働く時間帯に違いがあります。

昼日勤なら、一般的な会社員と同じ勤務時間なので、心身への負担を軽減することで、長く働き続けられるでしょう。家族との時間を優先したい、心身にあまり負担をかけたくないなら、昼日勤で勤務できるタクシー会社を選ぶようにしましょう。

タクシー運転手の求人を探す

長時間座りっぱなしなので体力的に・精神的にきついと感じる人も…

働く時間を調整できたとしても、狭い運転席に座りっぱなしという状況は変えられません。3つの勤務スタイルのなかでも比較的負担の少ない昼勤務でも、休憩1時間以外は長時間座ったままです。そのため、自身で負担を軽減する工夫を施すことが必要です。

体力的にきついと感じるポイント



基本座っている仕事のため、首や腰が痛くなることもあるかもしれません。シートの角度や座り方に注意したり、こまめな休憩で体への負担を軽減したり、日頃から身体を労わることが大切です。

精神的にきついつと感じるポイント

タクシー運転手は、大切なお客さまを乗せて運転します。そのため、事故を起こしてはいけないというプレッシャーから、精神的にきついつと感じてしまうことがあるかもしれません。

常に気を張っていると疲れてしまいましたが、お客さまが乗っていない間の車内はプライベートな空間です。お客さまを乗せていないときは、自分の好きな音楽やラジオを流して、少しでもリラックスできるようにすると良いでしょう。

タクシー運転手の求人を探す

【イメージ3】タクシー運転手は休みが取りにくそう

タクシー運転手は休みが取りにくそう、というのもよく抱かれるイメージのひとつです。これは、労働時間の長さと同じく、深夜まで働く姿から感じるイメージかもしれません。しかし、タクシー運転手の拘束時間は決まっており、実態はイメージと異なる部分があります。

タクシー運転手は1か月の拘束時間が決まっているからしっかり休める

働き方改革関連法にあわせ、過重労働を防止するためにタクシー運転手の1か月の拘束時間は決められています。拘束時間とは、労働時間と休憩時間の合計時間、つまりは始業時刻から終業時刻までのすべての時間のことです。

日勤は288時間以内、隔日勤務は262時間以内と、それぞれの働き方によって定められた時間を超えないように調整するため、十分な休みの時間が取れない…ということはあまりないと言えます。

参考：タクシー・ハイヤー運転手の労働時間等の改善基準のポイント

タクシー運転手はほかのドライバーの仕事よりも残業時間が少なめ

政府統計によると、タクシー運転手の残業は21時間（企業規模100～999人の場合）です。同分野の営業用バス運転手の残業は39時間、営業用大型貨物自動車運転手は45時間で、タクシー運転手の残業時間はほかのドライバーより少なくなっています。

また、時間外労働の上限規制の導入が始まるため、これからより一層休める時間が増えるこ

とが期待できます。

参考：厚生労働省 ハイヤー・タクシー業における働き方改革について

隔日勤務の場合は明け番＋有給取得で2日連続休める

1回の勤務時間が長い代わりに、勤務終了後は9～11時間の「明け番」という休日に入ります。そこでほぼ1日休むことができますが、さらに次の日に公休（有給）を当てれば2日連続で休めることになります。

1か月で考えると月の半分以上が休みになる計算になるので、「休みが取りにくい」というイメージとは大きく異なり、思ったよりも休みが多いのがタクシー運転手の特徴です。

タクシー運転手の求人を探す

【イメージ4】タクシー運転手は給与が低くそう

「タクシー運転手は給料が低そう」というイメージを持つ人も多いようです。タクシー運転手は歩合制であることが多く、慣れないうちは稼ぎにくいと考える人もいるのかもしれませんが。

タクシー運転手の平均収入はほかの業種と比べて低いのでしょうか？

タクシー運転手の平均収入とほかのドライバーとの差

全国ハイヤー・タクシー連合会によると、令和3年のタクシー運転手の平均収入は約280万円です。同分類のドライバーとの収入差は以下のとおりです。

- 営業用大型貨物自動車運転者(男)…約464万円／収入差約184万円
- 営業用貨物自動車運転者（大型車を除く）(男)…約433万／収入差約153万円
- バス運転者(男)…約405万／収入差約125万円

たしかに、タクシー運転手の収入は高いとは言えないようです。ですが、東京都は約347万円、大阪府約364万円であることから、働く地域によってはほかの業種と同じくらいの収入が得られるでしょう。

安定して稼ぎたいなら「固定給」、頑張った分だけ給与に反映されたいなら「歩合制」、ある程度の収入を保証してもらいつつやりがいを感じたいなら「基本給＋歩合制」など、自分に合った働き方を選びましょう。

参考：一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会「タクシー運転者賃金・労働時間の現況」

参考：令和4年賃金構造基本統計調査

タクシー運転手の求人を探す

なかには年収1,000万ドライバーも！コツをつかむと稼ぎやすい

歩合制の場合は、平均収入を大きく超えて稼ぐドライバーも。なかには年収1000万円の強者もあり、タクシー運転手は努力が反映される夢のある仕事といえます。お客さまを絶え間なく乗車させ、空車の時間を減らすことが収入アップのカギで、コツをつかむと稼ぎやすくなるかもしれません。

- 渋滞情報を網羅しムダな時間を省く
- お客さまを降ろした場所のすぐ近くで次のお客さまを乗せる
- タクシーを探している人が多い通りを把握する
- 心地よい接客で常連客を確保する

接待や出張で頻繁にタクシーを使用するサラリーマンなど、顧客をつけることも収入アップにつながります。

タクシー運転手の求人を探す

【イメージ5】タクシー運転手はお客さまとのトラブルが多そう

タクシー運転手を目指す人が懸念しがちなのが、お客さまとのトラブルです。とくに深夜帯に働くとお酒を飲んでいるお客さまを送り届けることも多いため、不安に感じる人も多いかもしれません。

しかし、タクシー会社では万が一のトラブルに備え、さまざまな対策をしています。

最近では防犯対策がしっかりとられていることが多い

企業にもよりますが、最近のタクシーにはドライブレコーダー・防犯仕切版・防犯カメラ・GPS機能などが搭載されています。事故の瞬間やお客さまとの会話を記録することで、万が一トラブルに巻き込まれてしまった際には、事故の瞬間やお客さまとのやりとりを後で確認することができます。

防犯対策の徹底が女性ドライバーの働きやすさにもつながっている！

男性のイメージが強いタクシー運転手の仕事ですが、女性乗務員が増加傾向にあります。平成の最初と比べると、その数は約2倍に！

女性ドライバーが増えた理由はさまざまですが、一つの理由として防犯対策の徹底が進んでいることが挙げられます。働く時間帯を選ぶことで、お酒に酔っていて対応が難しいお客さまを極力避けることも可能です。

タクシー運転手の求人を探す

【イメージ6】タクシー運転手の需要が今後なくなりそう

タクシー運転手になることを検討している人のなかには、今から入社・転職したとしても将来タクシー運転手の需要はあるのかが気になる人もいるのではないのでしょうか。

実際、タクシー運転手は今後も需要が継続する仕事なのでしょうか。

タクシー運転手の需要は増加している！

タクシー運転手の需要増加の要因のひとつは、超高齢化社会です。免許返納に伴い、移動手段にタクシーを利用するお客さまが増えることが考えられます。

また、新型コロナウイルスの流行が少し落ち着いたことから、外国人観光客の増加でタクシー利用者が増えたり、飲み会が開かれることが増えて深夜帯に自宅までタクシーを使う人が増えたりすることもタクシー需要に影響しているといえるでしょう。

観光タクシーや介護タクシーなどの専門タクシーも需要が増えている

最近では、多くの専門タクシーが普及しています。たとえば、高齢者や障がい者の送迎を行う「介護タクシー」、観光客に付き添いながら観光名所を案内する「観光タクシー」、乳幼児の子育てに便利な「育児支援タクシー」など、その種類はさまざまです。

まずは一般的なタクシー運転手を経験して、第二のキャリアとして専門タクシーに移行するパターンもあるようです。自身の強みを活かせるのであれば、やりがいも大きくなりますね。

タクシー運転手の求人を探す

タクシー運転手に向いている人・向いていない人の特徴

ここからは、タクシー運転手への就職・転職を考えている人に向けて「タクシー運転手に向いている人」「あまり向いていない人」の特徴をご紹介します。

タクシー運転手に向いている人

- 運転が好きな人・うまい人
- 集中力・忍耐力のある人
- 相手の気持ちを深く読み取れる人
- コミュニケーション能力の高い人
- 気配り上手な人
- しっかり自己管理ができる人

タクシー運転手には、運転に対する高いモチベーションや、お客さまへ快適な空間を提供するスキルが求められます。また、基本的に一人で業務を遂行するため、自己管理ができる人に向いている仕事といえるでしょう。

タクシー運転手の求人を探す

タクシー運転手にあまり向いていない人

- 運転があまり好きではない人
- 注意力散漫な人
- 一人で過ごすことに苦痛を感じる人
- 極度に人に気を遣いすぎてしまう人
- ひどく怒りっぽい人

タクシー運転手は、安全運転が1番の仕事です。注意力散漫で怒りっぽい人は、運転に悪影響が出る恐れがあります。また、基本的には1対1での関わりが多いため、お客さまの言動に気を遣いすぎてしまうメンタルの弱い人はストレスが溜まるかもしれません。

しかし、上記の項目に当てはまる部分があるからといって、タクシー運転手になれないわけではありません。運転、接客に関しては、手厚い研修を設けている企業も多くあるため安心してくださいね。

タクシー運転手の求人を探す

タクシー運転手のやりがいは？楽しいと感じる瞬間！

長時間の運転など、きつい仕事と思われるタクシー運転手の仕事ですが、その分やりがいもたくさんあります。慣れるまでは大変かもしれませんが、働くうちに運転技術の向上や歩合での給料アップも期待できます。

また、お客さまとの出会いもタクシー運転手ならではのやりがいです。降車時の感謝の言葉や、常連客としてのリピート依頼…。たくさんの人との出会いは、タクシー運転手としての

活力になるはずですよ。

同じ地区を運転しているうちに、周辺のお店に詳しくなるのもうれしいポイント！お客さまとお気に入りのお店の情報を交換するのも良いですね。休憩時間に「今日はどこのお店でご飯を食べようか？」「新しく見つけたお店に寄ってみよう」などと考える楽しみも。大変さと比例して、やりがいもいっぱいのタクシー運転手です。

タクシー運転手の求人を探す

まとめ

「きつい」「大変」といったイメージが持たれがちなタクシー運転手ですが、ご紹介したように実態とは異なる部分もあり、働きやすい仕事である一面も見られました。とくに勤務時間や休息については、働き方改革の影響もあり、働くことへの負担は軽減されつつあるようです。

タクシー運転手として長く働き続けられるよう、うまく休憩を挟んだり、気分転換したりしながら続けていく必要があります。タクシー運転手はやりがいも多く、高収入をゲットできる可能性もある夢のある仕事です。気になる人は、ぜひチャレンジしてみてくださいね。

あなたは今タクシー運転手の仕事に興味がありますか？

この診断を受けると  
あなたがどのくらいタクシー運転手に  
向いているかわかります。

10問2分の質問に答えて  
適性をチェックしましょう。

早速診断する（2分）  
スポンサーリンク

タクシー運転手に向いている人？向いていない人？

『 適性診断の結果サンプルページ 』

あなたの診断結果

## あなたのタクシー運転手適性診断結果

あなたの適性度は 52%で、タクシー運転手の仕事に対して極端な向き不向きはないようですが、どちらかと言えば向いている寄りです。タクシー運転手を目指したい場合は、診断結果の詳細を読み込んで自分に足りている部分と足りていない部分を理解するようにしましょう。大事なことは、仕事を通して「長所を活かせそうか」「短所を許容、克服できそうか」です。両方とも OK であれば是非目指してみてください。

## タクシー運転手に必要な 10 の資質と

### あなたの適性判定

#### ID 資質 判定

1. 気配りや気遣いができる
2. 単独での行動が得意
3. どんなときも動じない
4. コミュニケーション能力がある
5. 自己管理ができる
6. メンタルが安定している
7. 方向感覚に長けており記憶力が良い
8. 気が長い
9. 謙虚で低姿勢で接することが得意
10. 身だしなみがきちんとしている

## スポンサーリンク

＼この診断を受けたい方はコチラ／

タクシー運転手適性診断を受ける (2分)

診断結果の解説

『 気配りや気遣いができる 』

十分に兼ね備えている

タクシー運転手の仕事は乗車客へのサービス業でもあります。タクシーに乗ってきたお客さんが気持ち良く過ごせるような気配りが必要です。ただお客さんを乗せて運転するだけではありません。場合によってはお客さんの乗り降りを手伝わなければいけないときもあります。車内のエアコンの調節をはじめ、いろいろとお客さんへの気遣いが求められます。運転に集中しながらお客さんのことも考えることができる力も大事です。さり気ない心配りができる人は、タクシー運転手に向いています。

### 『 単独での行動が得意 』

十分に兼ね備えている

タクシー運転手は、乗務中は単独行動になります。会社の仲間と一緒に行動することはまずありません。勿論お客さんが乗車しているときは 1 人ではないですが、自分だけで過ごす時間がとても長いです。仕事仲間と一緒に協力して行う仕事ではないですし、なかなかお客さんが見つからない日もあるものです。1 人の時間が苦ではなく、むしろ単独行動が得意な人はタクシー運転手として楽しく働けるでしょう。

### 『 どんなときも動じない 』

十分に兼ね備えている

乗車客は当然のことながら、いろいろなタイプの人があります。タクシー運転手を続けていると、理不尽なことで怒るお客さんやクレームが発生することもあります。普通に話していても、嫌みや文句ばかり言われることもあるかもしれません。けれどもいくら腹が立っても、相手に対して怒ってしまっは運転手として失格です。どんなときも何を言われても動じず、冷静に対応することが大切です。何かあってもイライラせず顔にも出さず、動じないメンタルの強さが重要です。

### 『 コミュニケーション能力がある 』

そこそこ兼ね備えている

子供からシニアのお客さんまで、タクシー利用者の年齢の幅は広いです。老若男女さまざまな人がタクシーに乗ってきます。やはりタクシー運転手に求められるのは、コミュニケーション能力です。お客さんにしても話しやすいドライバーであれば、緊張せずに行先を説明できます。そして話がおもしろくて会話が盛り上がれば、目的地までの道中も楽しい時間になるでしょう。気に入れば次回も指名してもらえらるかもしれません。コミュニケーション能力



は、タクシー運転手として働くにあたって欠かせません。

### 『 自己管理ができる 』

そこそこ兼ね備えている

タクシー会社の業務形態や希望シフトにもよりますが、多くのタクシー運転手は早朝から深夜まで長時間の拘束になります。長い時間、自身でスケジュールを立てて動いて売り上げを稼がなければなりません。そのためには体力が不可欠です。早朝から深夜まで働くためには、健康管理をすることが何より大事になってきます。風邪を引くわけにもいきませんし、夜遅くまでお酒を飲んでしまうと翌日運転できなくなります。とにかく健康に気を使って自己管理できる人でなければ、タクシー運転手は務まらないでしょう。

スポンサーリンク

### 『 メンタルが安定している 』

兼ね備えていない

タクシー運転手は常に安全運転を心がけなければなりません。運転しているとマナーを守らないドライバーもいますし、渋滞に巻き込まれてしまうこともあります。そんなときにイライラしてしまうと、とても安全運転はできません。そしてドライバーの腹立ちやイライラはお客さんにも伝わってしまいます。何より事故を起こしては大変です。運転技術があっても、心穏やかに運転できない人は事故を起こす確率が上がることが分かっています。タクシー運転手はメンタルが安定していることが適性と言えます。心の安定を保ち負の感情をコントロールできる能力が必要です。

### 『 方向感覚に長けており記憶力が良い 』

だいぶ兼ね備えている

タクシー運転手は担当エリアの地理に関してしっかり把握していなければ、道に迷う可能性があります。お客さんに道順を聞いてばかりいるのも、信頼されにくいです。新人のときは仕方がないとしても、目的地までスムーズに無駄のないルートで向かうことが重要です。そのためには方向感覚と記憶力が重要になってきます。方向音痴でないことや道に詳しいこと、そしてエリアの構造物やシンボルなどをしっかりと覚える力が求められます。いろいろな道をインプットしておけば、渋滞の際に抜け道を使うこともできるでしょう。

### 『 気が長い 』

そこそこ兼ね備えている

タクシー運転手はいろいろなシーンにおいて、気が長い性格でなければ大変です。ときには何時間経っても、お客さんが見つからない日もあるでしょう。そんなときも気長に地道にコツコツと、お客さんを探さなければなりません。渋滞のときも短気にならず、辛抱強く待つこととなります。イラっとするお客さんがいても、気を長く持つことで流すことができるでしょう。気が長い性格であることは、タクシー運転手の適性となります。

『 謙虚で低姿勢で接することが得意 』

そこそこ兼ね備えている

目的地まで長い場合は特に、お客さんとの会話も長時間になってきます。そんなときについて、自慢話などをしてしまうドライバーも見られます。しかし何かしら偉そうな物言いや内容になってくると、不快に感じるお客さんもいるわけです。そういうことがクレームにつながる可能性も否めません。タクシー運転手は謙虚な性格の人が向いています。そしてどんなお客さんに対しても、低姿勢で対応することが円満な業務と言えます。謙虚な姿勢でいられるタイプはお客さんにも好かれて働きやすいです。

『 身だしなみがきちんとしている 』

兼ね備えていない

基本的なことですが、服にシワが寄っていたり髪の毛がボサボサだったりするとお客さんは良い気がしません。人気のタクシー運転手は身だしなみもきれいにしています。タクシー運転手は男性が多いので、女性客の場合は尚のこと清潔感のあるドライバーを求めます。さっぱりと小綺麗できちんとした身だしなみの人は、タクシー運転手として人気が出るでしょう。

スポンサーリンク

結果をシェアできます

判明したあなたの結果を

SNS でみんなにシェアしよう！

※シェアすると下の画像とテキストが投稿されます

あなたのタクシー運転手適性診断結果シェア画像

あなたのタクシー運転手適性診断結果は...

📄 適性度：52%

🗨️ やや向いている

#タクシー運転手適性診断 #Questi #自己分析 #就活 #転職

[https://questi.jp/diagnoses/jobs/taxi-](https://questi.jp/diagnoses/jobs/taxi-driver?utm_campaign=dj_316_v1&utm_medium=social&utm_source=twitter)

[driver?utm\\_campaign=dj\\_316\\_v1&utm\\_medium=social&utm\\_source=twitter](https://questi.jp/diagnoses/jobs/taxi-driver?utm_campaign=dj_316_v1&utm_medium=social&utm_source=twitter)

この結果をツイートする

《 評判の良い転職サービス 3 選 》

転職を考えるなら評判の良い以下 3 つがオススメです。

1 位 マイナビエージェント

↳ 20~30 代の若手向け求人が豊富

2 位 doda

↳ 転職者満足度 1 位で業界 2 位の求人数

3 位 リクルートエージェント

↳ 業界最大手で転職支援実績 No.1

＼この診断を受けたい方はコチラ／

タクシー運転手適性診断を受ける (2分)

この適正診断テストでわかること

タクシー運転手に向いているか向いていないか

タクシー運転手の職業適性度

タクシー運転手に必要な 10 の資質

解説でタクシー運転手に必要資質の詳細

あなたがそれぞれの資質をどの程度持ち合わせているか

タクシー運転手とは？

タクシー運転手は自動車を使った旅客運送に従事する運転手です。

一般的には路上で客を拾い、目的地まで乗せるのが主な仕事になります。

法律上は公共の交通機関の一種ですが、電話や専用のアプリで事前に予約できる点が利便性の高さに繋がっていると言えるでしょう。

タクシーは大別すると会社が車両を所有し、運転手を雇用する法人タクシーと、運転手自身が事業主になって業務を行う個人タクシーがあります。

また、完全予約制のハイヤーも広義のタクシーであり、タクシー業務でありながらハイヤーを名乗っている会社も少なくありません。

近年では高齢者や体が不自由な人を対象にした福祉タクシーの割合が増加しています。

タクシー運転手になるには？

タクシー運転手として働くには普通自動車第二種免許が必須です。

二種免許は旅客運送を行うのに必要な免許であり、普通自動車を使うタクシーは普通自動車第二種免許が該当します。

取得には第一種免許を取り、運転歴が三年以上経過していなければいけません。

また、年齢は満 21 歳以上であり、視力や聴力なども条件が設けられています。

タクシー会社によっては二種免許を持っていない人も雇用する所がありますが、取得するまで運転手の仕事はできません。

このような会社は自動車学校の費用を補助するなど、免許取得をサポートする制度を設けているのが普通です。

タクシー運転手の給料・年収

タクシー運転手の収入は多くの場合、基本給に売り上げから算出した歩合を加算した金額になります。

基本給は地域の最低賃金とほぼ変わらないため、この金額だけを見れば決して高給取りとは言えません。

タクシー運転手として稼ぐには多くの客を乗せ、売り上げを増やすことが必須条件と言え

るでしょう。

歩合の数值は会社によって異なるので一概には言い切れませんが、大抵は売り上げが多いほど運転手の取り分が増える計算になります。

タクシー運転手の平均的な年収は約 350 万円から 400 万円ほどですが、優れた運転手なら 500 万円以上稼ぐことも珍しくありません。

タクシー運転手の就職・転職先（求人）

タクシー運転手として働くにはタクシー会社に就職するのが普通です。

自動車を使った旅客運送を行っているのはほとんどの場合、タクシー会社なので選択肢は必然的にタクシー会社一択になります。

個人タクシーはタクシー運転手のキャリアアップとして知られていますが、非常に条件が厳しいのも事実です。

65 歳未満であることが必須条件である他、タクシー会社に一定年数以上勤務していなければいけません。

35 歳未満の人を例にした場合、タクシー会社に十年以上勤務し、同じ年数だけ無事故無違反であることが条件になります。

誰でもなれるわけではありませんが、それだけに個人タクシーは安全第一な優良運転手の証明と言っても過言ではありません。

タクシー運転手に向いている人とは？ 適性や必要な能力を紹介  
キャリアガーデン編集部

2022.12.02

もくじ（項目をクリック）

タクシー運転手に向いている性格・適性

気配り上手な人

一人で過ごす時間も苦にならない人

ストレスに強い人

タクシー運転手に必要なスキル・能力

タクシー運転手に向いていないのはどんな人？

タクシー運転手に向いている性格・適性

気配り上手な人

タクシー運転手は、サービス業としてお客さまに快適に過ごしていただくための気持ちが強く求められる仕事です。

たとえば、運転に集中しながらも常にお客さまの様子には気を配らなくてはなりません。

場合によっては自らお客さまに声をかけることも大切です。

あくまでもお客さまのために運転をするのがタクシー運転手ですから、さりげない気配りや心配りができる人にこそ向いている仕事です。

一人で過ごす時間も苦にならない人

タクシー運転手は、乗務中は自分だけで過ごす時間も非常に長い仕事です。

毎日、会社からタクシーを出庫してからの 1 日の過ごし方は、基本的にそれぞれ運転手に任せられます。

その日の営業が終わるまでは、自分でお客さまを見つけながら走ることが基本となるため、会社で大勢の仲間と協力して物事に取り組む、という仕事とは根本的に性質が異なります。

そのため、一人の時間が苦にならない人、一人でも淡々と仕事をこなせる人に向いている仕事だといえるでしょう。

ストレスに強い人

タクシー運転手の仕事は、1 日の拘束時間が 15 時間程度と、とても長いのが特徴です。

その分、休みもしっかりととることができますが、運転中は安全運転のために常に集中している必要がありますし、精神的なプレッシャーも強い仕事です。

また、長く仕事を続けていれば、なかには暴言を吐くお客さまがいたり、理不尽な文句を言われたりと、接しにくいお客さまとの出会いもあるはずです。

それでも、途中で仕事を投げ出すわけにはいきません。

タクシー運転手は、嫌なことがあったときにすぐにイライラしてしまうようでは、運転にも影響が出てしまうため、我慢強い人やストレスに強い人に向いているといえます。

## 関連記事

タクシー運転手になるには

ドライバーズワークのロゴ画像

タクシー業界への転職なら「ドライバーズワーク」

都心部のタクシー業界求人が豊富。未経験OK、寮完備や非公開求人も

担当者が丁寧にサポート。初めてタクシー業界に転職する人も安心

サイト内にはタクシー業界の給与体系や道を覚えるコツなどお役立ち情報も

非公開求人をチェック！

公式サイト

タクシー運転手に必要なスキル・能力

タクシー運転手以外の運転仕事にいえることですが、長時間車に乗っていても苦にならない、とにかく運転が好きという気持ちは、何よりも大切です。

いくら運転が好きだとしても、プライベートで運転するように自由な運転はできません。

常にお客さまの様子や道路状況、時間などに気を配る必要があり、集中力が求められ精神的なプレッシャーも強い仕事です。

とにかく車を運転したいという思いがあり、運転技術を常に向上したい、街の地理を覚え続けたい、という気持ちでなければ、この仕事を続けるのは難しいでしょう。

タクシー運転手に向いていないのはどんな人？

タクシー運転手は、日々さまざまなお客さまと接するだけに、コミュニケーション能力も必要とされます。

「運転は好きだけど、人とコミュニケーションをとるのは苦手」という人には、あまり向いている仕事とはいえません。

また、運転の面では天候や道路状況、突発的な事故や渋滞などにより、臨機応変な対応をと

らなくてはならない場面も多々あります。

そこで冷静な判断をしなくては運転事故を起こしかねませんし、お客さまからクレームを受けてしまうため、常に落ち着いて行動できる人でなくてはならないでしょう。

タクシー運転手はきつい？ やりがいや向いている人の特徴を解説  
働き方を選ぶ

公開日：2022年8月9日

タクシー運転手はきつい？ やりがいや向いている人の特徴を解説

第二種運転免許が必要となるものの、年齢制限も無いためミドルシニア世代でもチャレンジしやすい一方で、「きつそう」というイメージで足踏みしてしまう方も多いのではないのでしょうか。そこで今回はタクシー運転手の仕事が「きつい」と言われる理由をご説明します。やりがいや向いている人の特徴も一緒にご紹介していくので、ぜひ参考にさせていただけたらと思います。

この記事の目次

タクシー運転手はどのような仕事？

タクシー運転手の仕事がきついと言われる理由とは？

タクシー運転手のやりがいと楽しさとは？

タクシー運転手に向いている人に共通する4つの特徴

まとめ

タクシー運転手はどのような仕事？

タクシー運転手の仕事はもちろん「運転」ですが、ただ運転するのではなく、車両を「旅客運送を目的として運転」する仕事になります。第二種免許が必要になるのもそのために、運転に慣れている方や、業務として行っていた方にとっては有力なキャリアチェンジ先と言えます。

ただ「旅客運送を目的として運転」という意味では、配送業も含まれますが、配送ドライバーやトラック運転手とタクシー運転手の大きな違いは、運ぶ「もの」。配送ドライバーは荷物ですが、タクシー運転手は「人」を運ぶ仕事であり、狭い空間なのでコミュニケーションスキルが求められる「接客業」でもあります。

急いでいるお客様から頼まれて目的地までの最短ルートを選択したり、体の不自由な方のサポートを行うことも。もちろん人を乗せて運ぶ以上、安全には何よりも気を使う必要がある仕事です。



タクシー運転手は「対人業務」だということを念頭に置いて業務にあたります。

### タクシー運転手の種類

一口にタクシー運転手と言っても、業種によっては送迎以外にもさまざまな業務があることも。以下にお伝えしていきます。

#### 一般タクシー

皆さんイメージする「タクシー」と言えば、まさにこの仕事でしょう。

走りながらお客さまを探す「流し営業」、駅や乗り場にタクシーを付けてお客さまを待つ「付け待ち営業」、お客さまの連絡で迎えに行く「配車営業」などでお客さまを送迎するタイプのタクシーです。

よく目にするのは会社が経営しているタクシーですが、許可を受けた人であればいわゆる「個人タクシー」として、個人事業主としてタクシー経営を行うことができます。

#### ハイヤー

特別な場面で使用されることが多いハイヤーの運転手は、一般タクシーよりホスピタリティが求められる業種と言えます。

「接客」より「接待」に近く、利用は完全予約制であるためスケジュールは立てやすいようにも思えますが、例えばお抱え運転手などの場合、雇用主の都合に合わせて運転をする必要があり、かなり高度なスキルが求められる業種と言えます。

#### 専門タクシー

専門タクシーとはそれぞれの分野に特化したタクシーで、最近増えているものは介護タクシーや観光タクシーなどがあげられます。特に介護タクシーは訪問介護サービスの一種で、条件を満たせば介護保険を利用できるためニーズも増加傾向にあります。

要介護者や体の不自由な人が利用するタクシーのため、通常のタクシーではなく、車椅子が固定できるような車を運転することになります。そのため、車椅子の扱いなどに慣れておく必要があるほか、体の不自由な方へのサポートなど、研修を受ける必要があります。

また、観光タクシーはその名の通り観光ご案内専門のタクシーです。ガイド業務も一緒に行うため、より幅広い知識が求められる職業と言えるでしょう。

#### タクシー運転手の求人を探す

## 勤務形態

タクシー運転手の勤務は、それぞれ「昼勤」「夜勤」「隔日勤務」が上げられます。下記に詳しくお伝えしていきます。

### 昼勤

昼勤はその名のとおり、日中の勤務です。朝起きて夜に眠る、という一般的な生活リズムで働くことができるため、身体的な負担が少ないのは間違いなくメリットでしょう。

タクシー運転手にキャリアチェンジしたい方の多くが望む勤務形態でもあります。タクシーの稼ぎ時は交通量の増える「早朝」か「夜～深夜」。そのため、昼勤で稼ごうと思えば、早朝出勤は避けられないのが実情といえます。

朝早い分勤務後の時間を自由に使えるため、「プライベートも大切にしたい」「稼ぎより社会参画としての労働がしたい」と考えている方にはピッタリの勤務形態です。

### 夜勤

夜勤は主に夕方～早朝までの勤務となります。深夜料金などが発生するため、日勤帯で働くより給料が高くなるのは大きなポイントでしょう。

また、タクシーの稼ぎ時でもあり、深夜帯や終電後に駅前に行列ができることも珍しくありません。「まだまだ稼ぎたい」「夜間帯の勤務が楽」と考えている方は、夜勤帯での勤務をオススメします。

### 隔日勤務

また昼勤と夜勤を組み合わせ、20時間程度勤務をする「隔日勤務」もあります。もちろん休憩もありますが、長時間勤務となるため体力と相談して行う必要があるでしょう。

勤務時間としては、昼～夕方から翌日の朝～昼までで、次の日に休みが入るパターンが多いです。稼ぎながら長い休みを取ることもできる勤務形態でもあるため、タクシードライバーとして長く安定して働きたい方にオススメです。

### 1日の流れ

では実際、タクシー運転手の1日とはどのようなものか、1日の流れを簡単にご説明していきたいと思います。

今回お伝えする例はあくまで一例であり、営業所や勤務帯によっては多少差異もございますので、ご了承ください。

#### 1：集合・点呼

出社後、まず引き継ぎや点呼が行われ、この際健康チェックやアルコールチェックが行われます。

国土交通省は2013年5月より、バス・タクシー・トラック事業者が、点呼において運転者の酒気帯びの有無の確認を行う際、アルコール検知器を使用すること（遠隔地においては、運転者が所属営業所のアルコール検知器を携行して使用すること）を法令で義務付けています。

アルコールチェックは配送ドライバーには必須と言える上、もしチェックに引っかかってしまった場合は今日の業務を行うことができないので十分に気をつけましょう。

#### 2：車の点検

車の点検を行い、走行に問題無いかチェックします。

#### 3：営業開始

駅や乗り場にタクシーを付けてお客さまを待つ「付け待ち営業」や走りながらお客さまを探す「流し営業」で、お客様を獲得、送迎しましょう。また、営業所から依頼があつて配送することもあります。

#### 4：休憩

タクシー運転手は一般的な会社勤務とは異なり、休憩時間は自分の好きな時に取れるようになっていることが多いです。一日のスケジュールを立て、ちょうど良い時間にきちんと休憩を取るようにしましょう。

#### 5：営業再開

時間帯に合わせて、最適な営業方法でお客様を獲得します。

#### 6：帰社・営業報告と洗車

帰社後も、業務中にアルコールを飲んでいないか証明するためアルコールチェックを行う事業所は多いです。自身の行いの証明のためにも、帰社後もしっかりアルコールチェックを受けましょう。

それが終わればタクシー内を清掃・洗車し、業務報告を行い業務終了となります。

## 7：退勤

pixta\_30481368\_M (1) (1).jpg

タクシー運転手の仕事がきついと言われる理由とは？

1日の拘束時間が長い

もしタクシー運転手として働く場合、前述した隔日勤務に従事する必要も出てきます。

その場合1日15時間～20時間勤務になることもあり、独特の勤務体系に慣れるまできついと感じることもあるでしょう。

隔日勤務は早朝や昼に仕事が終わったあと、次の日も休み、ということが多いため、完全週休2日制で勤務するより長時間休みが取れることも事実。

ぜひ自分の適性を省みた上で、自分に合った働き方ができるタクシー会社を見つけてください。

中には理不尽なお客さまもいる

タクシー運転手は基本的に個人業務なので、会社の間人関係で悩むことが少ない一方、さまざまなお客さまを一人で対処する必要が出てきます。態度が悪いお客さまや、理不尽なクレームを言ってきたりするお客さまもいるでしょう。

どうしてもタクシーの稼ぎ時は深夜なので、酔っ払いに絡まれるような機会もまたし、そのあたりがきつい、と思う方も多いかも知れません。このような折衝業務がネックだと感じる場合は、その場合の対処法についてどのような対策が取られているか、ぜひ会社に質問してみてください。

事故に巻き込まれる可能性がある

どんなに気を付けていても、事故に巻き込まれる可能性はゼロとは言えません。

被害者ならまだしも、状況によっては加害者になってしまうケースもあり、安全運転を心がけることは必須と言えます。そのプレッシャーをきついと感じる方も多いためでしょう。

現在はドライブレコーダーが搭載されているタクシーも多いですが、就職の際はぜひ乗車する車にドライブレコーダーが搭載されているかどうかは確かめておいた方が良いでしょう。また、事故に遭った際のトラブル対処法がしっかりしている会社を選択した方が自分のためとも言えます。

タクシー運転手のやりがいと楽しさとは？

pixta\_81630112\_M (1) (1).jpg

確かにタクシー運転手にはきつい点もありますが、仕事は何かしらきつい点があり、それをどう楽しくするか、という工夫が必要となります。

下記に仕事を楽しくするポイントややりがいなどをお伝えしていきます。

地理や土地に詳しくなれる

タクシーはお客様の要望によっていろいろな土地へ最短ルートで行く仕事です。そのため、地理や土地に詳しくなれるほか、裏道にも詳しくなれます。

知らない道を発見したり、独自のルートで快適に走行できることに達成感を感じる方は楽しく仕事ができるでしょう。

たくさんの人との出会いがある

タクシーに乗るお客様は、年齢も仕事もさまざまで、話が盛り上がることもあるかもしれません。いろいろな話が聞けるのもタクシードライバーの楽しさの一つであり、そのような出会いが楽しめる方は向いています。

また、お客様とのやりとりの中で「ありがとう」「おつかれさま」と直接声をかけてもらうことも多い職業です。

自分の仕事が誰かのためになっている、と実感できるのは間違いなくやりがいと言えるでしょう。

がんばった分だけ稼げる

タクシー業界の多くは歩合制を取っています。そのため、タクシーで人を乗せれば乗せるだけ給料も上がるシステムとなっています。もちろん自分の体力面と相談することにはなりますが、より稼ぎたい、仕事がしたい、と思う人にはピッタリの職業でしょう。

住んでいる地域によっては、タクシーを多く利用する地域もあり、地域によってかなり年収差があるのがタクシードライバーの特徴です。人によっては年収 800 万というような売上も。

努力がきちんと給料に反映される環境がモチベーションに繋がる人は向いているでしょう。

タクシー運転手の求人を探す

タクシー運転手に向いている人に共通する4つの特徴

人と話すのが好きな人

タクシー運転手は接客業であり、人と話す機会が多い仕事です。もちろんプライバシーの観点からあまり深く関わることは推奨できませんが、人と話すことが好きな方、人とほどよく関わっていたい、という方は楽しんで仕事ができるでしょう。

気配り上手な人

タクシー運転手は、お客様をただ目的地まで運ぶだけが仕事ではありません。快適に過ごしてもらうための気配りも必要となってきます。そのため、安全走行を意識しつつ、お客様の様子にも気を配ることが大切です。気配り上手な人は向いているでしょう。

運転が好きな人

当然ながら「運転手」ですので、車を運転するのがメインの業務となります。

車の運転が好きな人は、好きなことしながら給料も稼げるため、モチベーション高く働くことができるでしょう。

自己管理できる人

タクシー運転手の勤務形態は、夜勤や隔日勤務など、一般的な働き方と比べて特殊な勤務形態になることも多いです。体調がしっかり管理できていないと集中力がなくなり、事故につながることも。日頃から自己管理できる人が向いているでしょう。

まとめ

いかがでしたでしょうか？今回はタクシードライバーの実情を詳しくご紹介していただきました。

ぜひ、今回お伝えしたことを参考に、タクシー運転手を新たな転職先の候補の一つとして検討していただけたら幸いです。

新卒や転職でタクシードライバーに向いている人はどんな人？

自己チェックしてみよう！

タクシードライバーになろうと考えている人で「挑戦してみたいけど、自分が向いているかわからない……」と思っている人は多いのではないのでしょうか。タクシードライバーは、一般の会社員とは異なる勤務時間で働き、毎日多くの初対面のお客さまを相手にする職業です。「運転が得意なだけでは成り立たない」「接客の心が大切」とはよく言われますが、実際にどのような人がタクシードライバーに向いているのでしょうか？ 現役タクシードラ

イバーの体験談も交えながら、解説していきます。

タクシードライバーがこの業界に入った理由とは？

タクシードライバーとなった人のバックグラウンドはさまざまです。新卒で入社した人、他業種から転職した人など、それぞれ積んできた経験は異なります。

新卒でタクシー会社に入社した 20 代前半の女性は、「車が好きだったこと」がきっかけでタクシードライバーの道を選びました。「若い人をもっとこの業界に増やしたい」と意欲を見せつつ、タクシー会社がこれから生き抜いていくためには「個人の接客スキルを上げること」だと語ります。

同じく新卒で入社した女性は「最初はタクシー業界に入ることは考えていなかったけれど、社員の親しみやすい雰囲気に入社を決めた」と言い、「実際に勤務してみると、休みも多く、給与も同級生より高い」と待遇の良さに驚いたと話しています。

一方、ルート営業から転職してきた 30 代のタクシードライバーの男性は、最初は「運転が好きという単純な動機」で応募したそうです。現在は「なぜタクシー業界が人手不足なのかわからない」と言うほど勤務の内容と体系、収入に満足していると言います。そして稼げないタクシードライバーの特徴として「何も考えずに働いている人、サボっている人」と、向いていない人のタイプも指摘しています。

そのほか、タクシードライバーに転職した人の転職理由は「プライベートを大切にしながら働きたい」「収入を上げたい」「人と接するのが好き」と多岐にわたります。

タクシードライバーに向いているのはどんな人？

さまざまなタイプの人それぞれの理由でタクシードライバーとして働いていることから、タクシードライバーは多くの人が目指しやすい職業と言えます。とはいえ、「タクシードライバーに向いている人のタイプ」は確かにあります。自分の性格と照らし合わせてチェックしてみましょう。

タクシードライバー適正チェック

勤勉である

細かいところに気がつく

地道な性格である

1人で過ごすことが苦ではない

オンとオフの切り替えが上手である

あなたはいくつ当てはまりましたか？ 1つずつ説明していきます。

「勤勉である」ことは「地道な性格である」とつながってきますが、常に学ぶ姿勢であることは大切です。効率の良い仕事の仕方を考える、お客さまが多い場所を把握する、自身の地理知識を高める、など、仕事を続けていれば学ぶことは無限にあります。すべて完璧な人はいませんが、なるべく一歩でも前に進もうとする姿勢が後々大きな違いとなってきます。

「細かいところに気がつく」のは、接客の面で重要です。車の清潔さ、お客さまの希望、道路の状況など、細かい変化にすぐに気づき対処する人は、お客様からも評価されるでしょう。

「地道なタイプ」である人は、コツコツと実績を積み上げていけます。入社直後からすぐに稼げるようになる人は稀です。未経験ならなおさら、最初はできることをきちんとこなしていくしかありません。しかし地道に努力をした人は、「稼げるドライバー」に仲間入りできる可能性が高まります。



「1人で過ごすことが苦ではない」性格だと、勤務中もストレスをためずに働けるでしょう。タクシードライバーは長い勤務時間の多くを1人で過ごす職業です。休憩も1人でとることがほとんどなので、1人で過ごすことがストレスになってしまう人には難しいと言えます。

「オンとオフの切り替えが上手である」ことは、タクシードライバーにはとって望ましい要素です。なぜなら、運転には集中力が必要ですが、1日中集中し続けると疲れてしまいますし、ストレスもたまります。体が緊張し健康にもよくありません。運転していないときや休憩時には、きちんとリラックスできることが大切になってきます。オンとオフのメリハリをつけ、集中すべきときにはする、休むときにはきちんと休むこともタクシードライバーの仕事のひとつです。

あまり当てはまっていなかった人でも大丈夫！

適正チェックに当てはまる項目が少なかった人も安心してください。これに当てはまらなかったからといって、タクシードライバーに全く向いていないということではありません。努力をしなければ稼げないのは確かですが、先輩にノウハウを聞いたり、勤務に慣れてくることで仕事がしやすくなることも多々あります。タクシードライバーとしての意識をしっかり持ち、誠実に仕事をしていれば、自分なりの仕事の仕方が身についてくるはずですよ。

キャリアアップのためのキーワードは「安全」と「信頼」  
上の適正チェックの項目で、共通していることがあります。

それは「安全」と「信頼」です。この2つは、タクシードライバーとしてキャリアを積んでいくために一番大切なことでもあります。

運転のスキルやコミュニケーション能力は確かに大事ですし、高いに越したことはありません。ですが、この「安全」や「信頼」がなくては、どんなにそのほかのスキルが高くても、優良タクシードライバーにはなれません。

人の命を預かると言っても過言ではない職業であるタクシードライバーにとって、「安全」を守ることは第一原則です。安全を守ることは「信頼」につながります。また、清潔感、おもてなしの心、効率的な仕事の仕方がお客さまの信頼を積み重ね、さらに多くのお客さまを集めることにつながるのです。

タクシー運転手に向いてる人の6つの特徴・やりがいや魅力を紹介

更新日：2023年9月4日

タクシー運転手の仕事は中途採用数が多く、未経験者でも歓迎している会社が多いため、別業界からの転職を検討している方も少なくありません。

特に近年はコロナウイルスの影響が限定的となったことにより、タクシー需要も高まってきています。

しかし未経験者の場合、「本当にこの先タクシー運転手としてやっていけるのか」と不安に感じる方もいるでしょう。

今回はタクシー運転手に向いている人の特徴や、タクシー運転手の仕事のやりがいについて、分かりやすく解説していきます。

この記事でわかること

- ・タクシー運転手に向いている人の特徴
- ・タクシー運転手に活かせる経験
- ・タクシー運転手の仕事内容ややりがい
- ・タクシー運転手に向いていない人が感じる辛さ

目次

タクシー運転手に向いてる人の6つの特徴

タクシー運転手に向いてる人が活かせる経験

タクシー運転手の仕事内容

タクシー運転手に向いてない人が感じる辛さ

タクシー運転手に向いてる人が感じるやりがい

タクシー運転手に関してよくある質問

タクシー運転手に向いてる人に関するまとめ

タクシー運転手に向いてる人の6つの特徴

タクシー運転手とは文字通り、タクシーを運転して乗客を目的地まで送り届ける仕事です。

仕事のメインとなるのが運転である一方で、他のドライバー職と比べて最もお客様との距離が近く、乗客が目的地までくつろげるような接客スキルも求められます。

そのようなタクシー運転手に向いていると言われる人の特徴は、主に6つあります。

- ・運転が好き
- ・コミュニケーションが好き
- ・配慮ができる
- ・自己管理ができる
- ・1人きりの時間が苦ではない
- ・ストレスへの耐性がある

タクシー運転手として仕事をこなす中で、このような特徴がどう役立つのか、タクシー運転手の業務内容を元に解説していきます。

#### 運転が好き

タクシー運転手になる上で必須とも言える特徴が「運転が好き」ということです。

タクシー運転手は毎日長時間の運転が当たり前で、ベテラン社員になったからといってデスクワークなど別の仕事を担当するようになるわけではありません。

そのため、運転が好きだという人には最適な職種だと言えるでしょう。

中には「運転は大好きだけど操作は苦手」という方もいるかもしれませんが、毎日運転し続ける中で自然と運転スキルが身に付いていきます。

入社段階では「運転が好き」という気持ちがあれば、運転スキルについて気にする必要はありません。

ただし、運行中は乗客の命を預かることとなるため、過去に何度も交通ルールに違反しているような人はおすすめしません。

#### コミュニケーションが好き

タクシー運転手は乗客にくつろいでもらうのも大切な仕事であり、お客様に合わせてコミュニケーションを取る必要があります。

タクシーの利用客層は非常に幅広いため、どのような人であっても苦手意識を持たず、自然に話せる人がタクシー運転手に向いています。

「話すのは好きだけど接客はしたことがない」という方でも、入社後に接客マナーなどの研修が用意されているため問題ありません。

一方で「周りに気を遣うのが嫌で、接客業務をしたくない」ような人には向いていないと言えるでしょう。

タクシー運転手は常に 1 人で仕事をしていると思っている人が多く、入社後のギャップで辞めていく人も少なくありません。

タクシー運転手は、接客業務も運転と同じくらい行うことを理解しておきましょう。

#### 配慮ができる

タクシー運転手は車内で乗客にくつろいでもらうため、コミュニケーションを含めたさまざまな気配りが必要です。

大きな荷物を持っている場合はすぐにトランクを開けて積み下ろしを手伝い、車内の温度に関してもお客様に合わせた調整を行います。

このような細かい気配りを普段から行っていると、お客様からの予約で指名が入るようになるケースもあり、収入も上がりやすくなるでしょう。

一方で、周りの些細な変化に気付くのが苦手だったり、気配りが苦手だったりする人は乗客と揉めてしまいやすく、当然売り上げも伸びません。

配慮ができなければタクシー運転手はできないわけではありませんが、転職するのであれば意識して改善していきましょう。

#### 自己管理ができる

タクシー運転手は、わずかな運転ミスが命に関わる大事故に繋がります。

そのため他の仕事以上に、体調管理には万全を期す必要があると言えるでしょう。

タクシー運転手の勤務形態は複数種類ありますが、主流となっているのが「隔日勤務」であ

り、1回の勤務で約20時間ほど働きます。

勤務時間もバラバラであるため、体調管理をすることも簡単ではありません。

また、プライベートでの運転に関しても、交通違反には人一倍の注意が必要であり、高い自己管理能力が必要と言えるでしょう。

自己管理能力は努力次第で改善できますので、苦手だという方は転職前から意識して直しておくようにしましょう。

1人きりの時間が苦ではない

タクシー運転手はお客様と接する機会が多いとはいえ、仕事に関しては別の社員と協力して行うわけではありません。

タクシー事業所を出発すると、全てのことを自分1人で判断していく必要があります。

そのため1人きりの時間が苦手でなく、自分で考えて仕事をこなすのが好きな方にタクシー運転手は向いています。

一方で仲間と話しながら協力して仕事をこなすのが好きな人には、向いていない可能性があります。

ストレスへの耐性がある

タクシー運転手は長時間勤務が当たり前であり休憩があるとはいえ、長時間集中し続けているとストレスも溜まります。

また、接客に関しては酔っ払っている人を乗せる機会も多く、理不尽な態度を取られることも珍しくありません。

毎日この繰り返しとなるため、一定以上のストレス耐性は必須と言えるでしょう。

嫌なことがあっても冷静に考え、すぐに切り替えられるような人はタクシー運転手に向いています。

一方で、乗客との揉め事などをすぐに忘れられず、必要以上に考え込んでしまうような人は耐えられない可能性があります。

タクシー運転手に向いてる人が活かせる経験

過去に運転系の仕事経験がない人であっても、タクシー運転手に過去の経験が活かせる可能性があります。

タクシー運転手の仕事で活かせる経験は主に2つあります。

- ・接客や営業の経験
- ・営業エリアに住んでいた経験

このような経験がタクシー運転手の仕事でどのように活かせるのか、解説していきます。

接客や営業の経験

取り扱う商品に関係なく営業経験や接客経験が過去にある方は、身に付けたコミュニケーションスキルをタクシー運転手の接客でも活かします。

タクシー運転手は1日に20組前後の乗客を接客します。

乗客が求める接客はそれぞれであり、一概に明るく話しかければ良いというわけではありません。

乗客の雰囲気を見極めた上で、最適だと感じた接客態度で接する必要があります。

このような相手の求めていることを雰囲気で感じ取る能力は、過去に接客や営業の経験がある人の方が長けていると言えます。

住んでいた経験

タクシー営業エリア近辺に住んでいた、仕事でよく運転していたといった経験はタクシー運転手の仕事で活かします。

タクシー運転手は駅や病院だけでなく、さまざまな場所へ乗客を送り届ける必要があるからです。

目的地までのルートはただ近い道を選べばいいわけではなく、時間帯などによって混みやすい道を避けなければなりません。

最善のルートで向かっていても、交通トラブルで別ルートを考え直さなければならぬこ

ともあります。

その土地に普段から住んでいたり仕事で行くことが多かったりして土地勘があるようなら、ナビに頼らずに、最短でお客様を目的地へと運べるでしょう。

#### タクシー運転手の仕事内容

タクシー運転手に向いている人の特徴について解説しましたが、適性を知るには仕事内容や特徴について理解しておくことも大切です。

ここではタクシー運転手の種類や勤務形態、1日の流れについて、詳しく解説していきます。

#### タクシー運転手のタイプ

一口にタクシー運転手といっても、運用形態や利用する乗客によって大きく3種類に分けられます。

##### 【一般タクシー】

街を走りながら乗客を探す「流し営業」や、駅などの施設で乗客を待つ「付け待ち営業」を行うのが、最も多いタクシー運転手の部類となります。

最近では許可を得た上で個人事業主として働く「個人タクシー」が増えてきています。

##### 【ハイヤー】

ハイヤーは一般タクシーと営業形態が異なり、利用は完全予約制となります。

日常生活で一般の人が利用するのではなく、会社役員や海外から来日した取引先の方がほとんどです。

そのため日常の移動ではなく、おもてなしの1つとして利用されます。

##### 【専門タクシー】

専門タクシーとはさまざまな搬送に特化したタクシーであり、「介護タクシー」や「観光タクシー」が該当します。

利用する人の負担がないように、車いすごと乗れるなどの機能が搭載されています。

観光タクシーでは、乗客に移動中も楽しんでもらえるようにガイド業務も行うため、より専

門的な知識が必要です。

タクシー運転手の勤務形態

タクシー運転手の勤務形態は主に3種類あります。

#### 【隔日勤務】

1回で2日分働く勤務形態で、休憩を含めて16～20時間ほど働きます。

出勤時間も会社によって異なり「7:00～翌3:00」「16:00～翌12:00」などのシフトがあります。

勤務が終わると次の勤務まで20時間以上の休息を取る必要があります、月の勤務回数は13日までに抑えなければなりません。

#### 【昼日勤】

一般的なサラリーマンと似た勤務形態で、7～8時から働き始めて16～17時に勤務終了となります。

長時間労働ではなく昼夜逆転もしていないため、最も身体的な負担の少ない勤務形態と言えます。

#### 【夜日勤】

夜日勤はいわゆる夜勤のことであり、16～17時から働き始めて、翌1～2時に勤務終了となります。

飲み歩いて帰宅するサラリーマンがメインの乗客で、深夜割増料金に切り替わるため、最も売り上げを立てやすい時間帯です。

タクシーの利用客は、他の公共機関が動いていない時間帯に利用されやすく、多くの会社が24時間営業です。

どの時間であっても運転手が不足することのないよう、隔日勤務が主流の勤務形態となっています。

タクシー運転手の1日の流れ

タクシー運転手はどの会社であっても、1日の流れに大きな違いはありません。



具体的な1日の流れは以下の通りです。

7:00・出勤 タクシー事業所に出勤後、アルコールチェックや健康状態の確認、点呼を行います。

7:15・車両点検 乗務する前に車内外の掃除や、安全運行のための車両点検を行います。

7:30・営業開始 事業所を出庫し、その日に決めた営業方法で乗客を見つけ、目的地まで送り届けます。

12:00・休憩 休憩時間は自分の好きなタイミングで決められて、休憩場所に指定もありません。

13:00・営業再開 午前中と同様に、乗客を見つけやすい方法で営業します。

17:00・休憩 夜の乗客が増える時間に備えて2回目の休憩を取ります。

18:00・営業再開 仕事終わりのサラリーマンをターゲットに、乗客を見つけ目的地まで送り届けます。

21:00・休憩 夜間帯に向けて休憩します。隔日勤務の場合、休憩時間は合計3時間以上となり、事務所で横になって休む運転手もいます。

22:00・営業再開 飲み終わり帰宅するサラリーマンをターゲットに、営業を行います。22時から深夜割増料金となるため1日の中で最も稼ぎやすい時間帯となります。

翌2:30・帰庫 営業を追えて事業所に戻り、その日の売上記録を提出し洗車や掃除を行います。

翌3:00・退社 隔日勤務の場合、次の勤務までに最低20時間の休息を取る必要があります、退勤日に再度働くことはありません。

参考元：厚生労働省 | 職業情報提供サイト jobtag | タクシー運転手

隔日勤務の場合、主にこのような流れで働くこととなります。

仕事内容に大きな違いはありませんが、洗車のタイミングなどは会社によって多少違いがあります。

タクシー運転手に向いてない人が感じる辛さ

ここまでタクシー運転手に向いている人の特徴や仕事内容について解説してきましたが、転職者の中にはすぐに辞めてしまう人も多少います。

退職理由は人それぞれですが、仕事をこなす中で辛いと感じた主な内容は以下の通りです。

- ・労働時間が長い

- ・事故が起きるリスク
- ・理不尽なお客様への対応

どのようなことが辛いと感じたのか、それぞれ詳しく解説していきます。

#### 労働時間が長い

多くのタクシー運転手が隔日勤務の労働形態で働いており、1回の勤務で他の仕事の倍近くの時間働きます。

1回の勤務時間が長い分、休憩時間も長く設けられており、仕事が終わればゆっくり休めます。

しかしながら、運転業務は常に集中しておかなければならず、17時間も働き続けるのは決して簡単なことではありません。

仕事に慣れて生活リズムが整ってくれば、楽になるとは言われているものの、辛さに耐えきれず辞めてしまう人も少なくありません。

#### 事故が起きるリスク

運転職で避けて通れないリスクが交通事故です。

どれだけ気を付けていたとしても交通事故の可能性をゼロにするのは難しく、内容によっては免許停止になる可能性もあります。

免許停止となればタクシーを運転できなくなるため、ある日突然仕事を失うリスクもあります。

最近では運転手をサポートする、さまざまな機能が車に搭載されていますが、リスクの大きさに辛さを感じる人も中にはいるでしょう。

#### 理不尽なお客様への対応

タクシーの乗客には急いでいる人が多く、早く目的地に着きたいからと理不尽な要求をしってくる人がいます。

夜間には酔っ払ったお客様も相手にするため、暴言を吐かれることも珍しくありません。

中には暴力を振るわれるといった悪質な事例もあります。

このような乗客はごく一部ではあるものの、日頃の接客でストレスを溜め込んでしまい、仕事が辛いと感じてしまう人もいます。

タクシー運転手に向いてる人が感じるやりがい

タクシー運転手の辛い点を 3 つ解説してきましたが、もちろん辛いことしかないわけではありません。

タクシー運転手ならではのやりがいやメリットもあります。

- ・ 頑張り次第で高収入を狙える
- ・ 出会いがたくさんある
- ・ 地理に詳しくなる

この3つのやりがいやメリットについて、詳しく解説していきます。

頑張り次第で高収入を狙える

タクシー運転手の給与形態は複数種類ありますが、歩合制が主流となっています。

そのため、仕事を覚えて結果を残せば過去の経験や勤務経験に関係なく、誰でも高収入を目指せます。

都市部で働くタクシー運転手の中には、年収 1,000 万円前後の人もいるほどです。

また、会社員として経験を積みば許可を取って個人タクシーを営むことも可能です。

頑張り次第ですぐに高収入を目指すのは、大きな魅力と言えるでしょう。

出会いがたくさんある

タクシー運転手は毎日多くの乗客と接するため、仕事を通してさまざまな会話ができます。

定期的にご利用するお客様も多く、普段の業務の中で仲良くなることも珍しくありません。

お客様と距離が近いので「ありがとう」と直接言葉をかけてもらえる時もあります。

誰かの役に立っていると実感しやすく、やりがいを持って働き続けられます。

地理に詳しくなる

タクシー運転手はさまざまな場所へお客様を送り届けるため、自然と地理に詳しくなります。

普段出かけるときに役立つのはもちろん、お客様との会話の中で美味しいお店や隠れ観光スポットなども知ることができます。

タクシー運転手に関してよくある質問

最後はタクシー運転手に関するよくある質問について答えていきます。

これから転職を検討している方に役立つ内容のため、ぜひ参考にしてみてください。

誰でもタクシー運転手になれますか？

運転免許を持っていれば誰でもタクシー運転手になれます。

今回解説してきた通り、向き不向きはあるものの求人のほとんどは未経験者でも応募可能であり、特別な条件はありません。

タクシー運転手として乗務するには普通自動車二種免許が必要ですが、入社後に取得するのが一般的です。

タクシー運転手に向いてる人に関するまとめ

今回はタクシー運転手に向いている人の特徴について解説してきました。

タクシー運転手はドライバー職の中でも特に乗客との距離が近い特徴があるため、運転が好きで人と話すのが得意な人が向いています。

仕事柄、長時間勤務でストレスも溜まりやすいので、自己管理ができてストレス耐性のある人も向いていると言えるでしょう。

タクシー業界や需要が高まってきており、将来的にも外国人観光客などが多く利用すると予想されているため、将来性の高いおすすめの職種です。

タクシードライバー・運転手に向いている人ってどんな人？

転職

公開日:2015/02/16

更新日:2022/05/31

タクシードライバー・運転手に向いている人ってどんな人？

未経験なのですが、タクシードライバーに向いている人ってどういった人でしょうか？

関連記事 未経験でもタクシードライバー（運転手）に就職・転職できる？

## 無料会員登録

一概には言い難い、非常に難しい質問だと思いますが、一般的にスキルが高そうなタクシードライバー（タクシー運転手）を乗客の観点で考えると、

- ・運転がうまい
- ・道順や地理に明るい
- ・乗客への細やかな配慮をできる
- ・雑談が得意

といった事項が思い当たります。確かに、非常に運転スキルの高いドライバーや、カーナビなど一切必要とせずに最短かつ渋滞を避けるルートを知り尽くしたドライバー、元芸人かと思える程に雑談が面白く、乗車中話題も絶えないドライバーが時々いらっしゃいますし乗客へのウケは良いと思われますよね。

関連記事 タクシードライバーってカーナビを使ってもいい？使わないほうがいい？

## 無料会員登録

一方、しっかり稼げるタクシードライバーという観点でだと、

- ・乗務時間のうちなるべく長く賃走していただける
- ・時間帯ごとの稼げるエリアを理解している
- ・乗客が居るエリアを熟知している
- ・長距離乗車してくれる常連客を多数知っている

なども挙げられます。一定水準以上の売上をコンスタントにあげられる方の傾向として良く聞くことは「どうすれば稼げるかを追求し、真面目で勤勉であること」です。つまり、タクシードライバー（タクシー運転手）の仕事は、頑張った分だけ売上（≒報酬）は上がり、サボっていた間の分は売上（≒報酬）は全く伸びないという、至極まっとうな話だったりもします。東京都などで「流し営業」を主体としている営業地域だと尚更この傾向は強く、ドライバーごとの売上の差も大きいです。

関連記事 タクシー運転手が「付け待ち」で稼ぐコツやポイントとは？

関連記事 タクシーの流しとは？コツを掴んで給料 UP へ【流しのコツ 10 選】

## 無料会員登録

もちろんただ闇雲に流せば良いという訳ではなく、一定のコツはあるようですが、簡単に稼げる神テクや、鉄板エリアのようなものを職人的に身につけている方だけが稼いでいるという話でもありません。各タクシー会社の売上データによれば傾向は単純で、走行距離が大きいほど売上も高い、というわかりやすい傾向が出る会社が多いことが実態のようです。そう考えると、タクシードライバーとしてしっかり稼げる（向いている）方というのは、サボらずに真面目にタクシーを走らせ続けることができる、実直な方ということにもなりますね。

いかがでしたか？タクシードライバーに向いている人と称して、稼げる人の傾向をご紹介させていただきました。もし詳細が気になる方はぜひキャリアアドバイザーにお問い合わせください！

タクシードライバーに向いている人とは？適性或性格を紹介します

タクシードライバーの仕事は？

タクシードライバーに向いている人の特徴

タクシードライバーに向いていない人の特徴

運転は好きだけど接客が苦手な方に向いている仕事

まとめ

「歩合制だから稼げそう！」というイメージを持たれるタクシードライバー。未経験でも始められるタクシードライバーですが、向いている人の特徴などはあるのでしょうか。本記事では、タクシードライバーに向いている人・向いていない人の特徴や性格をご紹介します。

ドライバーの求人情報はこちら

タクシードライバーの仕事は？

タクシードライバーに向いている人の特徴をご紹介する前に、タクシードライバーの仕事内容についてご紹介します。タクシードライバーとは、お客様を希望する場所まで安全に送り届け、その対価として料金メーターに表示された運賃を受け取る仕事です。働き方は土地

柄によりますが、駅や繁華街などで待機する場合や、タクシー会社にかかってくる電話を待つ場合、走りながらお客様を探す場合など様々あります。

タクシードライバーに向いている人の特徴

タクシー運転手 向いていない人

タクシードライバーに向いているのは、以下の3つの特徴に当てはまる方です。

- ・接客業務が好きな方
- ・運転が好きな方
- ・道路などを覚えるのが得意な方

このセクションでは、タクシードライバーに向いている特徴について、それぞれの理由を解説していきます。

接客業務が好きな方

1つ目の特徴は、「接客業務が好きな方」です。タクシードライバーは実に多種多様なお客様を相手にする接客業です。お客様によって「乗車中は会話を楽しみたいタイプ」「話しかけられたくないタイプ」など分かれるため、それぞれのお客様に合わせた接客をする必要があります。そのため、接客業務が好きな方はタクシードライバーに向いています。

運転が好きな方

2つ目の特徴は、「運転が好きな方」です。タクシードライバーの仕事内容の内には、車両点検や清掃などもありますが、1日の大半を運転して過ごします。一日に何時間も連続で運転することに苦と感じないといった「運転自体が好きな方」は、タクシードライバーに向いています。

道路などを覚えるのが得意な方

3つ目の特徴は、「道路などを覚えるのが得意な方」です。タクシードライバーは、多種多

様なお客様を希望する場所まで安全に送り届け、その対価として料金メーターに表示された運賃を受け取る仕事です。

お客様のご要望は様々あります。

- ・ 時間指定：多少時間が掛かっても良いからできるだけ安く行きたい
- ・ 距離指定：最短ルートで行きたい
- ・ ルート指定：〇〇駅を經由して、△△駅に行きたい

お客様の様々なご要望に合わせた接客をするためには、地理だけでなく、要望や時間帯を考慮しながらスムーズに目的地に着くまでの道順を覚える必要があります。そのため、「道路などを覚えるのが得意な方」は、タクシードライバーに向いています。

タクシードライバーに向いていない人の特徴

タクシードライバー 向いている人

次のセクションでは、タクシードライバーに向いていない人の特徴について、一例とそれぞれの理由を解説していきます。

タクシードライバーに向いていない人の特徴の一例は、以下の3つです。

- ・ 気遣いができない方
- ・ 運転が荒い方
- ・ 考えることが苦手な方

気遣いができない方

1 つ目の特徴は、「気遣いが出来ない方」です。タクシードライバーに向いている人の特徴「接客業が好きな方」でも解説しましたが、タクシードライバーには実に多種多様なお客様がいます。お客様を目的地に運ぶことが大きな仕事ですが、目的地につくまでの道中で心地よく過ごしてもらおう工夫をすることも業務の1つです。車内で快適に過ごしてもらおう事で、リピートにも繋がりますし、収入が伸びやすいです。そのため「気遣いが出来ない方」は、



よくお客様を観察して、お客様のタイプに合わせた接客を心掛けるとよいでしょう。

#### 運転が荒い方

2つ目の特徴は、「運転が荒い方」です。タクシードライバーは、お客様を希望する場所まで安全に送り届け、その対価として料金メーターに表示された運賃を受け取る仕事です。給料が売上に連動する歩合制のため、実車率をあげるためにスピードをあげてしまう気持ちは分かりますが、運転中の急ブレーキ・急発進、スピードの出しすぎは事故に繋がる危険性があります。また、事故の発生リスクを上げるだけでなく、お客様の満足度低下によるクレームを受ける可能性もあります。「運転が荒い方」は、お客様が心地よく乗車していただけるような、安全運転を心掛けましょう。

#### 考えることが苦手な方

3つ目の特徴は、「考えることが苦手な方」です。タクシードライバーは、時間帯や道路の混み具合を加味して、目的地までどれくらい掛かるかを逆算してお客様に伝える必要があります。また給料が売上に連動する歩合制のため、効率よく稼ぐためには、実車率を考えなければいけません。時間帯や場所によって、客層やタクシー需要が変わるため、営業中の走行ルートを考えながら車を走らせる必要があります。「考えることが苦手な方」は、1日の営業終わりにメモをとって分析するなど、徐々に考えられる習慣をつけてみましょう。

#### 運転は好きだけど接客が苦手な方に向いている仕事

タクシードライバーは、職種区分では運輸業に分類されますが、接客スキルが必要となるため、接客業の一面もあります。その接客に対して苦手な方もいらっしゃるでしょう。このセクションでは、運転は好きだけど、接客に苦手意識がある方に対して、向いている仕事をご紹介します。

#### 軽貨物トラックドライバー

1つ目は、「軽貨物トラックドライバー」です。軽貨物トラックドライバーの仕事内容は、大型トラックや中型トラックで配送された荷物を、指定の配達先に届けることです。軽バン車両や軽トラックなどの軽車両を扱います。軽貨物トラックドライバーとして仕事を始めるために必要な免許は、「普通自動車免許証」です。また別途、仕事で使用する車両の「営業ナンバー」も取得する必要があります。普通自動車免許以外に特殊な免許や資格を必要としないので、フリーランスとして始める方も増えています。

## 中型・大型トラックドライバー

2 つ目は、「中型・大型トラックドライバー（中距離/長距離）」です。トラックドライバーの仕事内容は、指定の荷物を指定の荷卸し場所まで配送することです。中型は車両総重量が4トン程度、大型は10トン程度のトラックを扱います。それぞれのトラックを運転するには「中型自動車運転免許」や「大型自動車運転免許」の免許取得が必須です。加えて、フォークリフト免許を取得している場合、荷物の積み下ろしも行う場合があります。学歴不問の求人も多数あり、免許を取得していれば始められる職種です。

## まとめ

本記事では、タクシードライバーに向いている人・向いていない人の特徴をご紹介しました。タクシードライバーは、適性がある方には未経験からでも比較的稼ぎやすいといえます。ご自身の性格や適性を分析して、タクシードライバーを目指してみてもいいかもしれません。